

2013年3月15日

2012年度第6回研究会（通算第49回）

1, 末期の前立腺腫瘍に対して種々の治療でQOLの維持を試みた犬の一例

ドリトル動物病院 綿貫和彦

ミニチュアダックスフント ♂ 12才6ヶ月 体重5.12kg 末期の前立腺癌と両側の水腎症による高度の腎不全を持つ症例に対して、六君子湯、補中益気湯、Gastricmeel、Reneel、などを用いて77日間もの間、QOLの維持と生存期間の延長を達成した。

2, 自然療法による症例報告

さこ動物病院 迫秀樹

シェルティー 8才 ♀

巨大食道の症例に対し Phosphorus 30c Gelsemium30c 半夏厚朴湯にて治療を始めた。7日後に悪心が見られたので Gastricmeel Nux-vomica30c Ipecacuanha30c を追加した。その後一年間一度も嘔吐がない。現在はホメオパシーのみで維持している。

ミニチュアダックス 10才 ♂去勢済

雷と花火の音におびえる。雷に対しては Rhododendron200c を投与し、花火に対しては Phosphorus200c と Ambra grisea200c を投与した。花火には効果があったが、雷が効きが悪くなってきたので、フラワーレメディの Calm&Clear と RQ7に変更したところ、これがとても効いているとのことであった。

猫 12才 ♀避妊済

昨日から右後肢がふらつくことで来院した。

Zeel Lathyrus30c Cicuta30c Conium30c Nux-vomica30c を投与した。

7日後変化なし。14日後少し調子よい。21日後 回復した。

ミニチュアダックス 7才 ♂

2～3日前から声がかすれて声が出ない。

Traumeel Apis30c Arum-trip30c を投与。7日後に回復。

3, 陳先生のセミナー報告と IVDD Grade5 の症例報告

エンゼルペットクリニック 名越譲治

平成24年11月30日、12月1日におこなわれた陳武先生による小動物臨床鍼灸学コースの国際セミナーの内容について報告した。その後、セミナーにおいて紹介された通電を用いた症例を報告した。

症例1 ミニダックス 8才 ♂ IVDD Grade5 深部痛覚なし。鍼治療開始後3ヶ月で自力歩行ができるようになった。陳先生の方法による通電を併用した。

症例2 ミニダックス 9才 ♂ IVDD Grade5 鍼治療と通電で1ヶ月で起立できるようになった。現在も治療を継続中。

次回の研究会は2013年5月17日に開催予定